

東京 I T 会計法律専門学校横浜校で防衛講話



東京 I T 横浜校での講話風景

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 林 一陸尉）は 11月26日（火）、東京 I T 会計法律専門学校横浜校（以下、東京 I T 横浜校）において、防衛講話を実施した。

本企画は、東京 I T 横浜校より「自衛隊が『国を守る』という崇高な使命を持ち、不断の弛まない努力によって平和が維持されている現状及び災害派遣活動では『最後の砦』として活躍している状況について理解を深めさせたい」との依頼を受け、本部長（夏井 一海佐）が生徒 87名に対して『自衛隊の役割と活躍』と題し、スライドを交えながら海上自衛隊第一ミサイル艇隊司令として東日本大震災における災害派遣及びインド国防大留学における体験談を中心に講話した。

生徒の中には、将来自衛官を希望している者もあり真剣に話を聞く姿が見られた。また同校の教員からは「難しい防衛問題を分かりやすく説明してもらえた」「自衛官を目指す生徒たちにとって、より強い動機付けになった」との声が聞かれた。

横浜出張所は「今後も東京 I T 横浜校との関係を密にして、自衛隊の魅力を伝え、募集成果につなげていきたい」としている。

「総合的な学習の時間」支援



体験喫食風景



装備品の説明を受ける学生



装備品の説明を受ける学生



基本教練を体験する学生

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 信國 2陸尉）は、年間を通じて、担当地区に所在する中学校から依頼を受け総合的な学習の時間を支援している。

総合的な学習の時間は、変化の激しい社会に対応して、自ら学び、自ら考え、自主的に判断し、より良く問題解決する資質や能力を育てることなどをねらいとしたものである。

今年度は現在 I 2校（計 69名）に対し、近傍に所在する部隊（陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地、駒門駐屯地、久里浜駐屯地、高等工科学校、海上自衛隊横須賀総監部、横須賀警備隊、第 2 術科学校及び航空自衛隊武山分屯基地）の協力を受け総合的な学習の時間を支援している。

内容については、自衛隊の任務や国際貢献及び災害派遣における活動状況を説明するとともに、装備品の説明、基本教練及びロープワーク等を体験させるとともに、実際に隊員が食べている食事の体験喫食を実施している。

学習終了後、生徒からは「自衛隊の役割が良く分かった」「ロープワークが難しかった」「食事が美味しかった」など様々な感想が聞かれる。

また、参加した学生から手紙を頂き自衛隊の任務の重要性や担当した部隊（隊員）への御礼に合わせた担当した広報官への感謝が記されている。所員一同、手紙を読み温かい気持ちになると同時に広報官の任務の重要性とやりがいを感じている。

小田原地域事務所は「今後も各部隊と連携しこのような機会を通じて多くの学生に対して、実際に自衛隊を見て触れてもらうとともに、自衛官との交流を通じて自衛隊の活動について理解してもらい自衛隊の魅力を伝えていく」としている。